

一致団結して 中身づくりを

江波中「学びの向上」3ヵ年プラン

目指す教職員

* 常に学びの姿勢を持ち、生徒とともに成長する教職員

目指す学校

* 組織的、機能的、かつ協同的な学校運営体制の確立
* 地域に信頼され、開かれた学校づく

基本理念

子供の可能性を信じ、個性や能力を最大限伸ばす

基本的な考え方

● 平成19年度から2学期制を実施するに当たり、「基礎学力の向上と教育相談の充実」を目指した特色ある教育課程の編成を行う。

● 生徒会活動の活性化を図り、生徒と教職員が一体となって取り組む。

・生徒会組織を見直し、特色ある生徒会活動ができるよう、取り組み内容について検討する。
・リーダーを育てる。

● 支持的風土づくりを目指した学年、学級経営の充実を図る。

・学級活動や係り活動などを通して、生徒の学級への帰属意識を高めたり、よりよい人間関係づくりに努めるとともに、掲示物等の充実を図り、学校文化を高める。
・日々の教育相談を充実させる。(教育相談とは、日々の生活の中で、生徒の心と向き合うこと)

● 道徳教育の充実を図る。

・道徳授業のあり方について研修を深め、生徒の心情を揺さぶるような魅力ある道徳授業に努める。
・マナーや規範意識、時間を守ることの大切さを理解し、身に着けるとともに、やさしさや思いやりの心情を育てる。

● 授業改善に努め、学力の定着を図る。

・生徒が主体的に学習に取り組めるような授業展開について研究を進める。
・基礎・基本の徹底を図り、確かな学力の育成に努める。
・そのためにも、教科の枠を超えた授業研究を行う。
・生徒同士の関わりを通して、望ましい人間関係をつくる。
・また、家庭学習やテレビやゲームなど、望ましい生活習慣が身につくよう、家庭と連携しながら取り組む。

● 地域ぐるみで子供を育てる。

・家庭や地域の協力を得ながら、基本的な生活習慣の定着を図る。
・そのためにも、保・幼・小・中連携を密にし、長期的な見通しの中で、子供の教育にあたる。

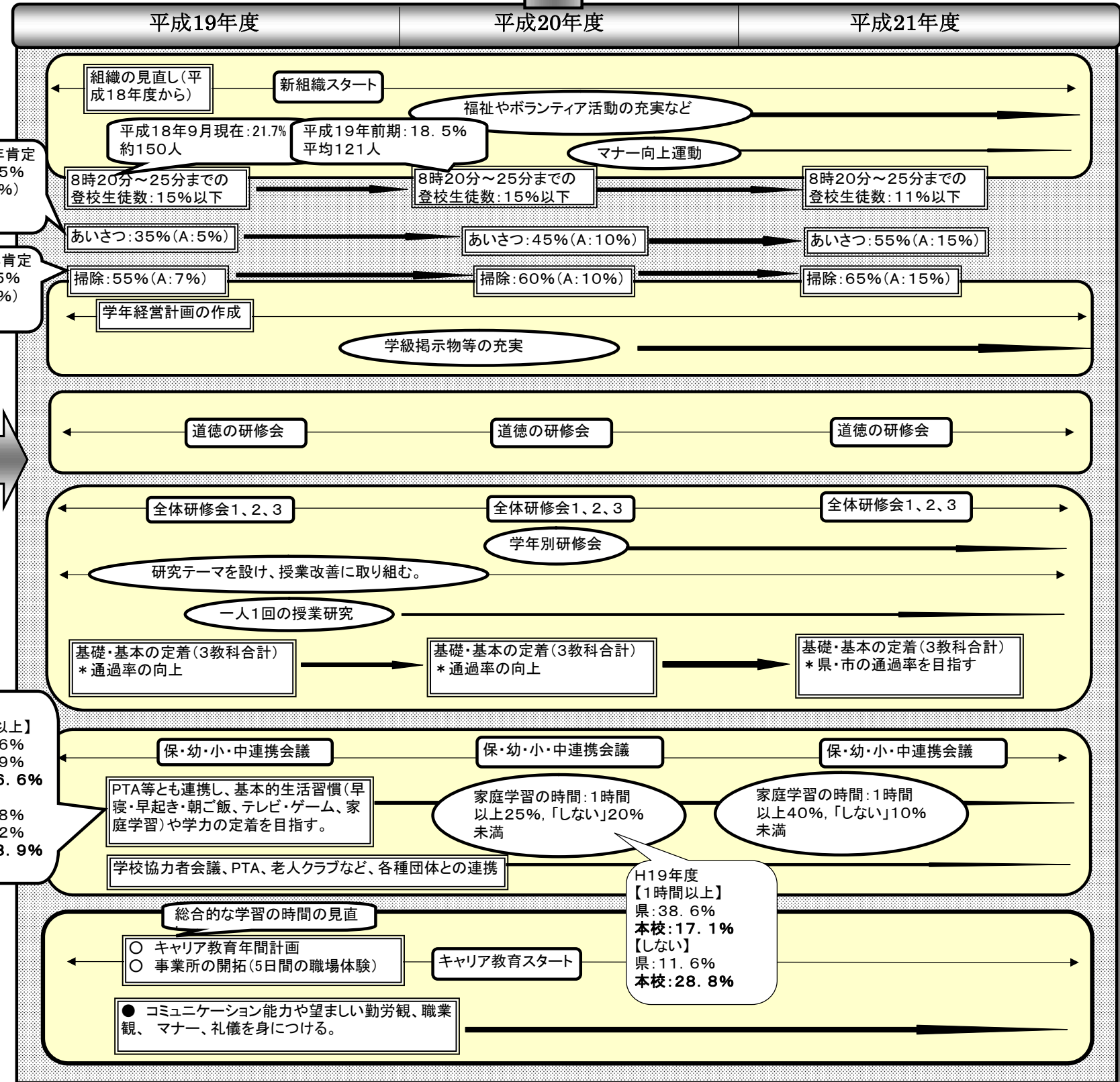
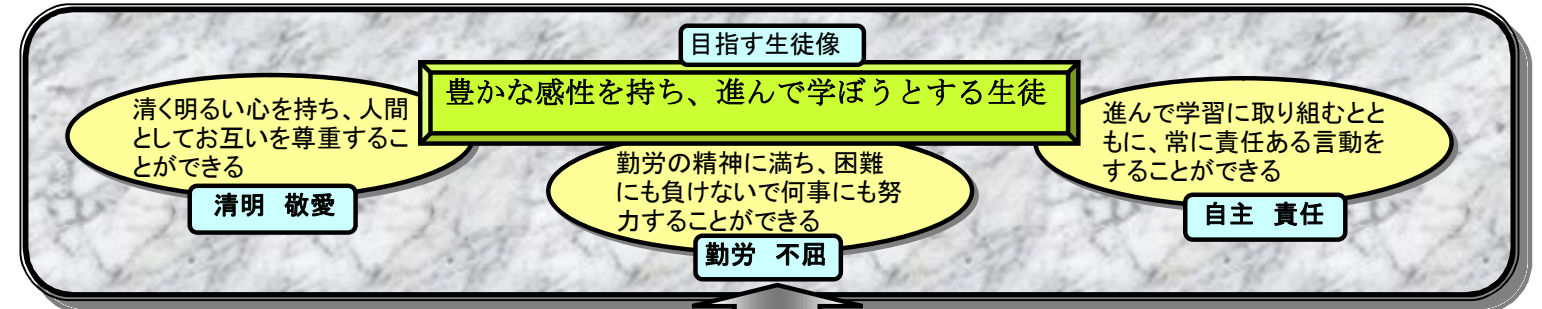
【生徒の現状】

○ 基本的な生活習慣が身につけていない(朝食、規則正しい生活、テレビ等の視聴時間、家庭学習など)。

- ・朝食:毎日食べる 74.2% (食べない日が多い 6.5%) (ほとんど食べない 6.1%)
- ・睡眠時間:5時間未満 10%
- ・テレビ:3時間以上 41%
- ・家庭学習:1時間以内 50% (2年生:30分未満 40%)

○ マナーや規範意識が薄い。
○ 自己肯定感が低い。

- ・約5割の生徒が自分はずまらない人間であると思っている。
- 基礎学力が身につけていない。(平成18年度:県より12.8P)
- よりよい人間関係づくりが苦手である。



H18年肯定率:25% (A:0%)

H18年肯定率:45% (A:5%)

H18年度
【1時間以上】
県:38.6%
市:35.9%
本校:36.6%

【しない】
県:10.8%
市:12.2%
本校:18.9%

H19年度
【1時間以上】
県:38.6%
本校:17.1%

【しない】
県:11.6%
本校:28.8%